

町文化協会が 本の仕分けボランティア

町文化協会（高澤安男会長）の会員10人は9月28日、遠野市文化研究センターで、東日本大震災で被災した公立図書館や学校図書館に届ける本の仕分け作業を行いました。



同センターが取り組む三陸文化復興プロジェクトの一環の活動。「100万冊の書籍贈呈による文化の復興」を合言葉に、広く

本や支援金の寄付を呼びかけているもので、全国から寄せられた本を希望する被災地の図書館へ発送するための仕分け作業を行いました。

参加した藤岡慶司さん（土谷川）は「皆さんのコンビネーションがよく効率的に作業を進めることができました。今回、協会の企画に参加して本当に良かったなと思いました。また、2回、3回と参加したいです」と充実した笑顔を浮かべました。

高澤さんが 山田町で復興祈念写真展

葛巻写真クラブの高澤安男さん（大沢）は9月15日から10月7日まで、山田町役場市民ホールで東日本大震災・復興祈念写真展「勇壮!!山田町のまつり」を開催しました。

展示した写真は一昨年、友人のいる山田町のまつりを撮影したもので、勇壮な虎舞や迫力ある神輿などA4サイズの60枚。希望する人には一人3枚まで差



左から高澤さん、奥さまの貞子さん、山田八幡宮の佐藤明徳宮司

し上げ、合計で約250枚になりました。震災で写真を失った人も多く、「いただいた写真は宝物です」「写真を見て、以前のような活気、祭り、復興した山田町を思い描き一歩ずつ前進します」というメッセージがたくさん高澤さんのもとへ寄せられました。一番希望の多かった写真は、三陸道から見下ろした山田町中心部の「町並み」。写真展が終わった現在でも口コミで広がり、希望する人から連絡があるそうです。

高澤さんは「何か復興に向けてお手伝いできればと思っていましたが、写真を通じて力になれたので良かったです。また山田町の神輿巡行の熱気が戻る日を願っています」と語りました。

平成23年度のくずまき高原森林の恵みフォーラム新・巻・牧トリプルフェスタ2011は10月15日から16日まで2日間、開催されました。初日の15日、あいにくの雨模様となり、予定されていた森林とのふれあい体験

森林の恵み フォーラム



防潮堤をイメージした商工会役員チームの作品

▽団体の部 第1位・商工会役員
体験・自然散策が中止となりました。森のこだま館で開催された講演会では、環境パートナーシップいわての渡邊彰子代表がエコ活動などの事例を紹介。町内に企業の森を開設している小岩金網(株)、(株)藤島建設、(株)永和が開発予定の農研テクノ(株)の4社が、環境に配慮した活動事例を紹介しました。
16日には、第4回全日本新積み選手権がJRバス葛巻駅構内で行われました。団体の部は8チームが参加し、「復興」をテーマに競われ、個人の部には7人が参加し5分間で高さを競いました。結果は次のとおりです。

新そばまつり



新そばの早食い大会

▽個人の部
第1位・松浦利明さん（浦子内）、第2位・村木登さん（田子）、第3位・高橋紗弥香さん（盛岡市）

チーム、第2位・がんばろういわて、第3位・小岩金網(株) △個人の部
第1位・松浦利明さん（浦子内）、第2位・村木登さん（田子）、第3位・高橋紗弥香さん（盛岡市）

▽第1位 深澤口和則さん（野中）、第2位 菅原透さん（岩手町）、第3位 櫻田慎さん（田子）
会場では葛巻婦人会による手作りの「そばがき」が振る舞われ、1キロの新そばの早食い大会には10人が参加。新そばだけに、早さよりも味わって食べることに早々に切り替えた人もいました。結果は次のとおりです。



「そばがき」は練るのが大変



- ①オープニングのテープカット
- ②千人鍋、初登場 ③JA演芸会も大盛り上がり ④体験教室に子どもたちがいっぱい ⑤おいしい食べ物がたくさん ⑥18メートルののりまきに挑戦 ⑦食改さんのうまいものれん街 ⑧豚汁はうまいな〜す ⑨白バイってかっこいい! ⑩郷土芸能の共演・下西部七ツ物



千人鍋が初登場し、豚汁を1杯100円で提供、売上金全額が社会福祉協議会を通じて被災地復興支援として、寄付されました。
第37回くずまき町民まつり（産業まつり、生涯学習フェスティバル、健康福祉まつり）は、10月22日と23日の2日間、町社会体育館とモウモウ館で開催されました。心配された雨もおさまり、延べ7900人の来場者は、ステージイベントや体験コーナーなど多彩なイベントを楽しみました。



町民まつり

